

快適な MPV に SUV の力強さが加わった、新型『エクスパンダー クロス』を発表

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は本日、アセアン諸国で好評を得ている MPV『エクスパンダー』のシリーズ追加モデルとなる新型『エクスパンダー クロス』をインドネシアで発表、明日より販売を開始いたします。

シリーズの最上位モデルとなる新型『エクスパンダー クロス』は、SUV ならではの力強さ、高い走行性能と快適な乗り心地を実現しました。そして数々の賞*を受賞した『エクスパンダー』を基盤にした MPV ならではの使い勝手が良く広い室内空間を兼ね備える、SUV が強みの三菱自動車らしさを際立たせた新型クロスオーバーMPV です。

なお、本モデルのベースとなる『エクスパンダー』は 2017 年に販売を開始、2018 年度には約 104,000 台を売り上げ、当社で 4 番目の販売実績を誇っています。新モデルは SUV らしさを高め、ワイルドなデザインや実用性のニーズが高いアセアン地域のお客様に新たな価値を提案します。



『エクスパンダー クロス』

当社 CEO の加藤は「『エクスパンダー クロス』のローンチにあわせ、インドネシアからの輸出台数増に対応できるよう生産能力を拡大しております。これにより、インドネシアの経済発展にも貢献していきたいと考えています」と話しました。

*『エクスパンダー』は 2018 年 3 月にインドネシアで、カー・オブ・ザ・イヤー、ベスト・オブ・ザ・ベスト MPV、ベスト・オブ・スモール MPV を受賞しました。

商品概要

- (1) SUV らしさを演出するダイナミックなエクステリア
 - ・フロントデザインには、ダイナミズムと力強さをバランスさせた、最新の「ダイナミックシールド」フロントデザインコンセプトを採用。また、SUV らしい堅牢さを際立たせるため、バンパー下部には専用スキッドプレートを装着しました。
 - ・リヤウインドウの下にグロスブラックのテールゲートフィニッシャーを配置、バンパー下部にはフロントデザインと同調する大型スキッドプレートを組み合わせ、SUV らしいタフなイメージを引き立てています。

- ・ボディサイドには、ブラックのホイールアーチモールディングを追加。これにより50mm 広くなった全幅と、この前後モールディングを繋ぐようにドア下部へ追加したブラックのドアガーニッシュにより、SUV らしい堅牢性を演出しています。また、大径17インチタイヤと新デザインのアルミホイールを採用し、高められた車高と相まって、よりSUVらしさを強調しています。さらに、ルーフキャリアの装着を容易にするシルバーのルーフレールを追加しました。
- ・LED ヘッドライトやポジションランプの位置を変更し高い視認性を確保しています。バンパーに組み込まれた大きなLED フォグランプは、跳ね石や浸水からのダメージを極力受けないように配置しています。
- ・ボディカラーは、高級感あるグラファイトグレーメタリックと、『エクスパンダー クロス』専用色となる人目を引くサンライズオレンジメタリックという2つの新色を追加しました。インテリアカラーはブラックとブラウンを組み合わせたコンビネーションカラーとし、ブラウン基調のダッシュパネルにはシルバーメッシュ柄の加飾をあしらい、洗練された高級なイメージを演出しています。

(2) SUVらしい高い走破性能と快適な乗り心地

- ・ベースモデルの『エクスパンダー』に比べ20mm 車高を高め、クラストップの最低地上高となる225mm を確保しました。これにより荒れた道路や浸水した道路での走破性を高めたほか、ドライバーの視認性を向上させました。
- ・パワートレインは、『エクスパンダー』と同様の4A91型1.5Lガソリンエンジンを搭載し、トランスミッションは4速ATと5速MTを用意しています。このエンジンは既存の4A9シリーズを強化したもので、静粛性と燃料効率が向上しています。また、エンジンだけでなく、高性能の吸音材と防振材を使用することにより、高い静粛性を実現しています。
- ・これらの特徴により、優れた走破性に加え、ドライバーを含めた乗員全員にとって快適なドライブを実現できるクルマに仕上がっています。

(3) MPVの卓越した快適性

- ・クラストップレベルの広々とした室内空間を持ち、快適な7人乗りと、乗客が簡単に出入りできる室内レイアウトを実現しています。
- ・日本の「おもてなし」の考え方にに基づき、ファミリーユースも視野に入れ、各列に配置したUSB端子など室内空間の快適性に細部にまでこだわった設計を施しています。
- ・『エクスパンダー』で好評を得ているクラストップレベルの室内空間は、乗降性に優れたパッケージングとしています。3人でも快適に座ることができる2列目シートは、タンブル機構の搭載により3列目シートへのアクセスを容易にしています。
- ・2列目(60:40分割)および3列目(50:50分割)のシートバックは、荷物の大きさや形に合わせて使えるよう、簡単な操作で折りたためるようになっています。大きな荷物を積む場合には、2列目と3列目のシートを折りたたみ、段差や隙間のないフラットかつ広大な積載スペースを作ることができます。
- ・同クラスで唯一、2列目中央のシートバックを倒すとアームレストとして使用できるだけでなく、2列目両サイドに乗車スペースを確保すると同時に長尺物の積載を可能にしています。また、3列目を使用する7人乗りの状態でも、5ガロンボトル(19L)4本または、標準的なベビーカーを入れるのに十分な荷物スペースを確保しています。このほか、『エクスパンダー クロス』は快適性を担保する以下の装備を搭載しています。



【その他の主要装備】

- ・チルトとテレスコピックの調整が可能なステアリングホイール
- ・クルーズコントロール
- ・用途にあわせてヘッドライト／ポジションランプの点灯・自動オフなどをプログラムできるカミングホームライト／ウェルカムライト機能、ヘッドライトオートカット、コンフォートフラッシャー
- ・ハイコントラストメーター
- ・クラストップの高効率エアコンディショナー

『エクспанダー クロス』は『エクспанダー』と同様に、インドネシアの乗用車生産拠点である三菱・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア（所在地：西ジャワ州プカシ県）にて生産します。順次アセアン地域をはじめとした各国にも輸出していく予定です。

以 上